



一般社団法人

岡山県通所介護事業所協議会

OKAYAMA Day service Office Conference

NEWS RELEASE

2023年7月吉日

地域の皆様へ

岡山県子ども・福祉部 長寿社会課と連携

VR技術により学生に向けた認知症の理解を深める研修会開催 介護事業所に求められる方向も探る

一般社団法人 岡山県通所介護事業所協議会は、2023年8月に、県内の通所介護事業所にて、主に地域の中学生を対象とした、「VRシステムで認知症の理解を深める福祉学習の研修会」を主催する。

内容は、岡山県子ども・福祉部 長寿社会課が行う「VRシステムを活用した 認知症出前研修会」を活用する。2040年問題である、認知症者の急増に向け、岡山県下も地域共生を図れなければならない。先の社会の中心者になる学生層をターゲットに、認知症者や介護福祉に関心をもってもらい理解を深めてもらう。また通所介護の事業所数は全国で約23,000件、利用者数は約200万人で、介護サービス（介護予防含む）利用者全体の概ね3人に1人が利用している。当協議会が企画するねらいに、体験会を通じて学生が介護施設に訪れる機会を創出し、身近で相談しやすい関係をつくることで、家庭介護やヤングケアラー等の問題にも早期に援助できる地域のチカラを引き出すきっかけになればと考えた。開催に協力する事業所の地域貢献活動にもなる。詳細は下記の通り。

記

「VRで認知症を知る研修会」

内容：岡山県の事業である「VRシステムを活用した認知症の方の世界を疑似体験するプログラム」を用意し、介護事業所を使って学生向けの体験会を行う。事業の目的である「認知症の方にやさしい地域づくりの推進」に向けて、認知症に対する理解をより深める場にする。

講師：岡山県子ども・福祉部 長寿社会課 参考サイト：<https://www.pref.okayama.jp/page/616163.html>

コンテンツ タイトル	内容
私をどうするのですか	視空間の失認の症状を体験できるコンテンツ。車から降りる、ただそれだけの動作がビルの上から降ろされるように見える怖さを体験する。本人の視点の大切さを再認識できる。
ここはどこですか	電車に乗っていてふとどこで降りるのかわからなくなる状況を体験できるコンテンツ。
レビー小体病～幻視編～	レビー小体病認知症の幻視を再現したコンテンツ。レビー小体病当事者の樋口直美さん完全監修。

■開催日時：2023年8月15日（火）10：00～12：00 ※9：30 受付開始

■場 所：株式会社アール・ケア [デイサービスセンター アルフィック十日市]
〒700-0856 岡山県岡山市北区十日市西町11-6

■参加対象：中学生（13歳になる学年から可）

■定 員：10名（申し込み先着順）

■参加費用：無料

■申し込み：参加申し込みフォームに必要事項を記入

申込 URL：<https://x.gd/61k7z>

QRコード：



■主 催：一般社団法人 岡山県通所介護事業所協議会

■後 援：岡山県、岡山市教育委員会

＜本件に関するお問い合わせ先＞

一般社団法人 岡山県通所介護事業所協議会 事務局

〒706-0134 岡山県玉野市東高崎 25-34（株式会社アール・ケア内）

TEL：0863-33-1005

FAX：0863-33-1006

Mail：odc@okayama-day-service.com